

ルワンダ月報（２０２４年９月）

※以下は、明示的に記載されたものを除き、ルワンダ通信局（Rwanda News Agency）の記事のとりまとめ。

１．内政・外政

- １～３日、カガメ大統領は、インドネシア・アフリカ・フォーラムに参加した。ジョコ・ウィドド・インドネシア大統領は、「ルワンダとインドネシアは二重課税問題、航空サービスに関する二国間協定、優遇貿易協定等について検討する」と述べた（New Times）。
- ４～５日、カガメ大統領は、中国・アフリカ協力フォーラムに参加した。アジアインフラ投資銀行の金立群総裁と会談し、現在進行中及び将来のパートナーシップについて協議した。また、習近平国家主席と会談を行い、保健、インフラ、テクノロジー等の主要分野における継続的な協力関係について協議した。
- １２日、ジョセフ・ンセンギマナ氏（Mr. Joseph Nsengimana）が新教育大臣に就任した。同氏は、前職でキガリにあるマスターカード財団・学習センターのディレクターを務めていた。
- １８～２０日、カガメ大統領はシンガポールで開催されたミルケン・アジア・サミットに参加した。チャンムガラトナム大統領と会談し、貿易、投資、金融技術及び両国間の民間部門の関係促進に向けた具体的なステップについて協議した。ウォン首相とも会談し、強力な二国間パートナーシップへのコミットメントやグッドガバナンス、リーダーシップなどについて意見交換した。また、二重課税回避協定に調印した。
- ２７日、キガリ市内の病院で、出血熱の一種であるマールブルグ病の患者が確認された（当館注：１１月１日時点で、感染例６６、死者１５、治療中２、となっており、終息に向かっている）。

２．開発協力

- １０日、第二次国家変革戦略（NST 2 : National Strategy for Transformation 2）の目標が議会に提出された。NST 2では、GDP成長率年９．３％以上、農業セクター成長率年６％以上、製造及びサービスセクター成長率年１０％以上が目標とされている（当館注：１１月１日時点で公開されているのは、NST 2の目標のみであり、今後本文が公開予定）。
- １０日、キガリ・イノベーション・シティ（KIC）の起工式が開催された。KICはAI、科学、技術、工学、数学に至る分野の企業を結集し、都市化のための最先端技術を支援するものである。KICの完成によって、２０億

米ドル以上の価値と5万人以上の雇用の創出、3億米ドル以上の海外直接投資の誘致が見込まれる。

3. 経済

●13日、ルワンダ産コーヒーのオンラインオークションが開催された。北部州ギクンビ郡のNOVA Coffee Ltd. のコーヒー豆は、平均市場価格の14倍にあたる1キロあたり71.8米ドルで落札され、最高記録となった。

●16日、ルワンダの2024年第2四半期のGDP成長率は9.8%であった。GDPへの貢献度は、サービスセクター47%（成長率10%）、農業セクター25%（成長率7%）、工業セクター21%（成長率15%）、純直接税7%である。

●28日、ムーディーズは引き続きルワンダの格付をB2とした。